

WEB 版（会員向け郵送版とは内容が一部異なります）

日本社会保障法学会会報第 49 号

発行日：2023.4.1 発行人：片桐由喜 編集人：嵩さやか 発行：日本社会保障法学会
本部事務局住所：〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 27-1 東北大学大学院法学研究科
嵩さやか研究室気付
Tel：022-795-6201 Fax：022-795-6249（共用）E-mail：sslawbureau@gmail.com
URL：http://www.jassl.jp/ 会員数：452 名（2023 年 4 月 1 日現在）

第 78 回大会対面開催再開に向けて 第 21 期代表理事 片桐由喜（小樽商科大学）

本年 5 月の第 78 回大会は 4 年ぶりに対面方式で開催します。この間、学会史上初めての大会中止、続くオンライン開催と新型コロナウイルス感染拡大防止措置に対応してきました。新しい技術を活用し、報告、質疑応答が対面開催とほぼ遜色なく進行できたことは皆さんの記憶に新しいかと思います。しかしながら、質疑応答の場面では、いくばくかの消化不良感を否定できなかったのではないかと思います。今回の大会では対面開催ならではの熱量の高い報告と一歩踏み込んだ質疑応答が展開されることと思います。

第 78 回大会は 1 本の個別報告と 3 つのミニシンポジウムで構成されています。個別報告では中国の介護保障制度が取り上げられます。高齢化が急速に進行する中国の現況と法政策についての知見を得ることができるでしょう。またミニシンポジウムでは、社会保障法と家族、普遍的給付へ向けた社会保障制度の課題、および、ソーシャルワークと法をそれぞれテーマとする意欲的な報告が行われます。どうぞご期待ください。

なお、大会自体は対面としつつ、第 76 回大会、第 77 回大会の経験をとおして得たオンライン方式の利点は今後も活用する予定です。今回から導入したオンラインによる出欠確認、昼食の注文等です。質疑応答に関しても、過去 2 回で活用したオンライン方式を採用し、当日はグーグルフォームを用いて質問を寄せていただきます（後掲参照）。この方式が質問を整理しやすく、かつ、文字の判読が容易であるからです。一方で、上記方式への対応が容易ではない場合に備え、質問用紙での質問も受け付けます。対面開催においてオンライン型質問は初めてのことです。当日、滞りなく進行できるよう、学会執行部、企画委員会、開催校が入念に準備しております。あわせて、会員の皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第 78 回大会開催案内 事務局長 嵩さやか（東北大学）

日本社会保障法学会第 78 回大会が下記の通り開催されます。皆様お誘い合わせの上、ご参加いただきたく存じます。**今大会より、大会の出欠登録及び昼食申込みは、原則としてオンラインとなります**（詳しくは、9 頁「<重要> 第 78 回大会の出欠登録・昼食申込みについて」をご覧ください）。

・ 日 時：2023 年 5 月 27 日（土） 9：30～17：00（9:00 受付開始）

5 月 28 日（日） 9：00～13:10（8：30 受付開始）

・ 会 場：神奈川県立保健福祉大学横須賀キャンパス

（〒238-8522 神奈川県横須賀市平成町 1-10-1）

総会・シンポジウム会場：教育研究棟（A 棟） A443 教室

お問い合わせ先（web 版では掲載しません）（神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部 西村淳研究室）

・大会次第

第1日目 2023年5月27日(土) ミニシンポジウム・総会

ミニシンポジウム

「社会保障法における家族の位置づけ—扶養義務との関係を中心に」

司会：新田秀樹（中央大学）

○新田秀樹（中央大学）……………9:30～9:35
「趣旨説明」

○倉田賀世（熊本大学）……………9:35～10:05
「所得保障ニーズにかかる私的扶養および社会保障給付の位置づけ—児童扶養手当に着目して」

○中野妙子（名古屋大学）……………10:05～10:35
「社会福祉の利用者負担における家族の位置づけ—保育と介護を中心に」

○嵩さやか（東北大学）……………10:35～11:05
「生活保護における国家による家族への介入の構造と課題—生活保護法77条を素材に」

○小島妙子（仙台弁護士会）……………11:05～11:15
「コメント」

休憩……………11:15～11:35

○質疑応答……………11:35～12:30

総会・開催校あいさつ・奨励賞授与……………12:30～13:05

休憩（昼食）……………13:05～14:00

ミニシンポジウム

「普遍的給付に向けた社会保障制度の課題～ベーシックインカムの議論をヒントとして」

司会：金川めぐみ（和歌山大学）

○金川めぐみ（和歌山大学）……………14:00～14:03
「趣旨説明」

○嶋田佳広（龍谷大学）……………14:03～14:38
「一律・定型給付と社会保障制度—区別・選別、普遍性・必要性」

○高田清恵（琉球大学）……………14:38～15:13
「ベーシックサービス論からみた介護保障の普遍性をめぐる課題」

○藤澤宏樹（大阪経済大学）……………15:13～15:48
「教育の普遍的給付—意義と課題—」

休憩……………15:48～16:03

○質疑応答……………16:03～17:00

大会第1日目終了……………17:00（予定）

第2日目 2023年5月28日（日）個別報告・ミニシンポジウム

個別報告

○余乾生（横浜国立大学）……………9:00～10:00
「中国の介護保障の法的構造 — 高齢者権益保障法からみる家族と国・社会の役割 —」

司会：関ふ佐子（神奈川大学）

ミニシンポジウム

「ソーシャルワークに法はどう向き合うか—イギリス法の経験から」

司会：丸谷浩介（九州大学）

○丸谷浩介（九州大学）……………10:10～10:15
「趣旨説明」

○平部康子（佐賀大学）……………10:15～10:40
「成人のケアに対するソーシャルワークの法規制」

○三輪まどか（南山大学）……………10:40～11:05
「成人の意思決定支援におけるソーシャルワークと法」

○橋爪幸代（日本大学）……………11:05～11:30
「児童虐待をめぐるソーシャルワークと法」

○西村淳（神奈川県立保健福祉大学）……………11:30～11:55
「ソーシャルワークの法的規律—日本との比較におけるイギリス法の特徴」

休憩……………11:55～12:10

○質疑応答……………12:10～13:10

大会第2日目終了……………13:10（予定）

※**今大会より、大会の出欠登録及び昼食申込みは、原則としてオンラインとなります**（詳しくは、9
頁「**<重要> 第78回大会の出欠登録・昼食申込みについて**」をご覧ください）。

※昼食代金は1,000円となります(当日現金にてお支払い下さい)。学内の食堂は、土曜日は休みですので、昼食は各自持参して頂くか、お弁当をお申込みください。

※今大会については、一時保育サービス及び懇親会はありません。ご了承下さい。

※今後の事情の変更により、オンライン開催に切り替える場合には、学会ホームページ・トップページの「お知らせ」欄に掲載いたします。大会前にご確認ください。

第78回大会時各種会議案内 事務局長 嵩さやか(東北大学)

5月26日(金) 14:00-16:00	企画委員会	教育研究棟(A棟)	A451教室
5月26日(金) 16:00-18:00	理事会	教育研究棟(A棟)	A436教室
5月27日(土) 13:05-14:00	編集委員会	教育研究棟(A棟)	A451教室

企画委員会からのお知らせ 企画委員長 嶋田佳広(龍谷大学)

第78回大会は、2023年5月27日(土)・5月28日(日)の二日間の日程で、神奈川県立保健福祉大学(神奈川県横須賀市)において対面方式により開催されます。

報告は、1本の個別報告と、3つのミニシンポジウムを予定しております。

第1日目では、午前にミニシンポジウム①「社会保障法における家族の位置づけー扶養義務との関係を中心に」(趣旨説明:新田秀樹会員、報告:倉田賀世会員、中野妙子会員、嵩さやか会員;指定コメンテーター:小島妙子会員)、午後にミニシンポジウム②「普遍的給付に向けた社会保障制度の課題〜ベーシックインカム議論をヒントとして」(趣旨説明:金川めぐみ会員、報告:嶋田佳広会員、高田清恵会員、藤澤宏樹会員)が予定されています。

第2日目では、余乾生会員による個別報告ののち、ミニシンポジウム③「ソーシャルワークに法はどう向き合うかーイギリス法の経験から」(趣旨説明:丸谷浩介会員、報告:平部康子会員、三輪まどか会員、橋爪幸代会員、西村淳会員)がもたれる予定となっています。

第79回大会は、2024年5月下旬の開催に向けて、調整を進めております。介護保険の施行から約四半世紀となることにも鑑みまして、シンポジウム「介護保険を再考する:介護保障における介護保険の役割(仮)」をテーマとして、石田道彦理事を中心に、報告準備を進められているところです。さらにミニシンポジウム「社会保障法と貧困(仮)」の企画が、秋元美世監事を中心に進められています。個別報告については、エントリーを受付中です。エントリーの締め切りは、2023年9月30日となっております。ご希望の際は、企画委員長(shimada@law.ryukoku.ac.jp)までお申し出ください。

第80回大会以降に関しまして、企画委員会においても企画の構想を鋭意検討いたしておりますが、学界全体として取り上げるべきテーマや深めるべき議論について、会員各位については常日頃お考えがありがたいこととも存じますところ、ぜひともご意見をお寄せいただきますよう、お願い申し上げます。あわせて、報告方法を含む大会運営についても一考が必要となっています。他の社会科学系の学会では書評に力を入れているところもあり、あるいは学問の枠を超えた対話の可能性を探るなど、今後の在り方につきましても、ご所見を拝聴いたしたく思います。企画委員長ないしはお近くの企画委員までお声がけいただければ幸いです。

学会誌投稿論文の募集について 企画委員長 嶋田佳広(龍谷大学)

下記の要領にて、学会誌投稿論文を募集しています。奮ってご応募たまわりますよう、お願い申し上げます。

記

- 1 学会誌に発表する論文は未発表のものに限ります。

- 2 投稿者は本学会会員に限ります。
- 3 投稿された原稿は、論文審査委員会が内容を考慮して選定した論文審査委員に、氏名を伏して審査を委嘱します。その結果に基づき、論文審査委員会が採否を決定します。採用された原稿の掲載方法等については、学会誌編集委員会決定します。
- 4 採用にあたっては、より一層内容の充実を図るために、補筆や修正等をお願いすることがあります。
- 5 原稿の分量は、原則として、14,000字（200字詰め原稿用紙70枚）以内とします。
- 6 執筆要領は、別にお渡しします。応募ご希望の方は、学会事務局まで請求してください。なお、公正な審査を行うため、執筆者を特定・推定させるような表現はお避け下さい。たとえば、注の中で投稿者自身の執筆論文・著書を引用する場合には、「拙稿」といった表現は用いずに、他の執筆者の論文等の引用と同じスタイルで引用してください。
- 7 英文タイトルおよび英文要約（200語以内）を必ずつけてください。
- 8 投稿論文は、PDFファイルで作成した原稿を学会事務局までメールで送付してください。提出された原稿は、採否にかかわらず返却いたしません。
- 9 締め切りは、2023年5月31日（必着）とします。＊学会誌第39号の発刊にあわせませす。
（メールの送付先）mail to: sslawbureau@gmail.com

学会奨励賞候補作品の募集について 企画委員長 嶋田佳広（龍谷大学）

2023年度学会奨励賞候補作品の推薦（自薦も含む）を、下記の要領で承ります。
なお、推薦された候補作品は審査委員会で審査の上、受賞者は総会で表彰いたします。

記

- 1 対象作品：2023年（1月から12月）に公刊された著作および論文
- 2 著者・筆者の年齢：当該著書・論文公刊時に40歳未満の会員
- 3 受賞者数：原則として1名
- 4 締め切り：2024年1月31日
- 5 推薦の宛先：
〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内27-1
東北大学大学院法学研究科 嵩さやか研究室気付
日本社会保障法学会事務局

学会誌編集委員会からのお知らせ 編集委員長 中川 純（東京経済大学）

- ・学会誌38号は、予定通り2022年12月に刊行いたしました。執筆していただいた会員のみならずには改めてお礼申し上げます。また、39号以降も同様のスケジュールで取り組む予定です。会員のみならずにはご協力のほどよろしくお願いいたします。
- ・78回大会の1日目（5月27日（土））の昼食休憩時に、編集委員会（39号）の開催を予定しております（昼食各自持参）。委員の方はご参集ください。なお、編集委員会詳細については追ってメールにてお知らせいたします。

新学会講座編集委員会からの報告 編集委員 石田道彦（金沢大学）

新しい社会保障法学会講座の進捗状況についてご報告します。『新・講座 社会保障法』の刊行から約10年が経過しました。新学会講座の刊行に向けて、これまで新学会講座準備委員会と新学会講座編集委員会において検討を進めて参りました。新学会講座は、「現代社会保障法学の論点（仮）」として基本的論点と現代的論点を扱う上下2巻の編成となっています。昨年6月に執筆依頼を行い、8月に執筆者を確定しました。その後、執筆者から担当項目について大まかな構想を提出いただき、作業を進めています。新しい学会講座は、2024年春に上下巻同時刊行の予定です。

○2022年度臨時理事会（21期）

- ・日時：2022年5月6日（オンライン会議）
- ・議事内容

① 推薦理事の選出について

以下の10人の推薦理事が選出された。（敬称略・順不同）

関ふ佐子 中川純 中野妙子 永野仁美 西村淳
原田啓一郎 福島豪 増田幸弘 水島郁子 山田晋

② 2022年度予算について

石田道彦事務局長より2022年度予算案について報告がなされた。

○2022年度5月定例理事会（20期）

- ・日時：2022年5月20日（オンライン会議）
- ・議事内容

① 第77回大会について（略）

② 第78回大会について（略）

③ 第79回大会以降の運営について（略）

④ 学会誌投稿論文について

石田事務局長より2022年5月19日時点で論文の投稿はないとの報告があった。

⑤ 学会奨励賞について

石田事務局長より2021年度学会奨励賞は2022年1月31日が締め切りであったが、推薦はなかった旨の報告があった。

⑥ 企画委員会内規の改正について

水島企画委員長より、2020年10月に任期を開始した企画委員の任期に関して、企画委員会内規を改正したい旨の提案があり、承認された。

⑦ 2021年度決算について

石田事務局長より2021年度決算について報告がなされ、監査報告を受けて承認された。

⑧ 新学会講座について

石田事務局長より、新学会講座準備委員会での検討について報告があり、今後のスケジュールについて説明がなされた。

⑨ 入会者承認、退会者報告（略）

⑩ その他（略）

○2022年度5月定例理事会（21期）

- ・日時：2022年5月22日（オンライン会議）
- ・議事内容

① 事務局長の委嘱

第21期事務局長は、嵩さやか理事が務めることになった。

② 企画委員長の指名

企画委員長に嶋田佳広理事が指名された。

③ 企画委員の選出

嶋田企画委員長より、太田匡彦会員、小西啓文会員、中益陽子会員（以上再任）、川久保寛会員、北岡大介会員、地神亮佑会員、常森裕介会員、平部康子会員、廣田久美子会員（以上新任）に企画委員の就任を依頼したい旨の提案があり、承認された。

④ 編集委員長の指名

編集委員長に中川純理事が指名された。

⑤ 編集委員の委嘱

中川編集委員長より、島村暁代会員、津田小百合会員、橋爪幸代会員、棟居徳子会員（以上再任）、浅野公貴会員、川村行論会員、倉田賀世会員、中野妙子会員、林健太郎会員（以上新任）に編集委員の就任を依頼したい旨の提案があり、承認された。

⑥ 2022年度予算案について

2022年度予算案が承認された。

⑦ 新学会講座について

石田理事・前事務局長より、新学会講座準備委員会での議論について報告があり、片桐代表理事より新学会講座編集委員会の構成員については執行部一任とする旨の提案があり、承認された。

○2022年度10月定例理事会（21期）

・日時：2022年10月22日（土）16:00～17:20

・ハイブリッド会議：対面会議（於 TKP 神田ビジネスセンター）・オンライン会議

・議事内容

① 第78回大会について（略）

② 第79回大会について（略）

③ 第80回大会以降の運営について（略）

④ 学会誌投稿論文について

嶋田企画委員長より、学会誌38号について2022年5月31日締め切りであったが、投稿がなかったと報告があった。

⑤ 学会奨励賞について

嶋田企画委員長より、10月22日時点で1作品の推薦があった旨の報告があった。

⑥ 奨励賞審査委員の委嘱について

秋元美世監事、加藤智章理事、木下秀雄理事、新田秀樹理事、丸谷浩介理事への委嘱が承認された。

⑦ 学会一時保育担当理事について

2022年10月より、福島豪理事の後任として原田啓一郎理事の就任が承認された。

⑧ 入会者承認、退会者報告（略）

⑨ 各委員会等より（略）

⑩ 新学会講座について

石田理事より新学会講座の編集委員が片桐由喜代表理事、石田道彦理事、菊池馨実理事、嵩さやか理事、新田秀樹理事、水島郁子理事（6名）に決定したと報告があった。また、全2巻で、出版社は日本評論社に決定した旨、刊行スケジュールや執筆者等についての説明があった。

⑪ その他（略）

○2022年度臨時理事会（21期）

・日時：2022年12月13日（火）～12月22日（木）（メール審議）

・議事内容

① 第78回大会の出欠登録等について

第78回大会の出欠登録及び昼食申込みについて、原則としてオンラインに変更する案が承認された。

② 第78回大会の実施方法について

第78回大会は、神奈川県立保健福祉大学における対面開催の予定であるが、対面参加できない会員に配慮するため、報告部分を録音し、大会終了後に会員のみがアクセスできるようにする方法が提案され、継続審議となった。

○2022年度臨時理事会（21期）

・日時：2023年1月12日（木）～1月19日（木）（メール審議）

・議事内容

① 第78回大会の実施方法について

新型コロナウイルス感染症が終息していない状況で対面大会を再開するにあたっての経過的措置と

して、第78回大会に限って、報告者グループ（個別報告は報告者）が同意した場合に限り、報告部分を録音し、後日学会ホームページの会員限定サイトで一定期間掲載するとの原案が承認された。

○2022年度臨時理事会（21期）

・日時：2023年3月17日（金）～3月21日（火）（メール審議）

・議事内容

① 学会奨励賞について

新田秀樹学会奨励賞審査委員長より、2022年度学会奨励賞候補作について審査結果の報告があり、了承された。

入退会のお知らせ 日本社会保障法学会事務局

- ・2022年5月20日の定例理事会で次の4名の入会が承認されました。（以下、敬称略・順不同）
堀場純矢（日本福祉大学）、中島啓子（社会保険労務士）、福嶋未来（早稲田大・院）、寺田誠（神奈川県立保健福祉大学）
- ・2022年5月20日の定例理事会で次の15名の退会が報告されました。
我妻正規、加藤千司、細井一夫、長上深雪、花岡泰則、林博幸、三好禎之、衣笠秀一、金綱久夫、平崎志穂美、中根真、鈴木勉、秋谷貴洋、芝田英昭、吉原亀久雄
- ・2022年10月22日の定例理事会で次の2名の入会が承認されました。
内田英一（大阪大学・院）、櫻井幸男（横浜国立大学・院修了）
- ・2022年10月22日の定例理事会で次の3名の退会が報告されました。
阿部敦、藤野美都子、北坂修

事務局からのお知らせ 日本社会保障法学会事務局

○質疑応答の方法について

第78回大会での質疑応答では、紙の質問票のほか、グーグルフォームでも質問を受け付けます。可能な限りグーグルフォームにて質問していただきたく存じますので、グーグルフォームに接続できるデバイス（パソコン、タブレット、スマートフォン等）をご持参いただけますとありがたく存じます。なお、シンポジウム会場では、開催校提供のWi-fiに接続できます。当日学会場にてグーグルフォームへアクセスするためのQRコード及びURLをお知らせいたします。

○名簿作成についてのお願い

2023年に会員名簿の発行を予定しています。本会報に同封している別紙「会員名簿についてのお願い」をご覧ください。登録情報の変更、名簿掲載の可否のご回答をお願いします。

○会費納入のお願い

年会費は9,000円です。別途送付いたします振込票により、お早めに納入いただければ幸いです。

なお、海外居住等でやむを得ずクレジットカード決済など別の手段でお支払いいただく場合は、手数料は会員個人でご負担ください。手数料等を考慮の上、学会口座に入金される金額が9,000円となるようにお支払いください。

○学会誌バックナンバーについて

学会誌につき、引き続き、会員が所属されている大学等の図書室やご近所の図書館等に購入希望を出していただけますと幸いです。ご注文につきましては、1号から12号までは委託事務局に、13号以降は法律文化社営業部（Tel：075-702-5830）にお問い合わせください。バックナンバー1号から12号までの在庫数は、学会ホームページにてご確認ください。

○英文パンフレットについて

英文パンフレットの残部が事務局に若干数ありますので、ご入り用の方は本部事務局までメールでご連絡ください。

○次回以降の学会大会について

第79回大会は、2024年5月に開催の予定です。

○所属・住所等の変更、会費納入状況について

学会ホームページよりオンラインで会員が直接、確認、変更できます。詳細については学会ホームページをご覧ください。なお、ID・パスワード・会費納入状況は、本部事務局（東北大学）では管理しておりません。お問い合わせは委託事務局にお願いいたします。

○会報の訂正お知らせ・追加情報について

会報発行後の訂正・追加情報については、学会ホームページ・トップページの「お知らせ」欄に掲載いたします。大会前にご確認ください。

<重要> 第78回大会の出欠登録・昼食申込みについて

第78回大会より、大会の出欠登録及び昼食申込みは、原則としてオンラインにて行っ
ていただきます。

○登録方法：学会ホームページ・トップページ「お知らせ」欄の「第78回大会【出欠登録・昼食申込み】」をクリックし、出欠登録フォームに必要事項を記入し、ページ下部の「確認画面へ」をクリックしてください。登録内容を確認して「登録する」をクリックしてください。（ID・パスワードは不要です）

○登録期限：5月17日（水）正午 まで（これ以降の登録は受け付けられません）

※出欠登録フォーム上に、住所等を記入して頂きますが、ここでの入力内容は学会名簿には反映されません。もし、住所等に変更がある場合には、ご自分で学会ホームページ右バナー「会員登録情報」から、直接、変更・修正して頂くか、委託事務局にご連絡下さい。また、会員情報の確認・変更に必要なID・パスワードがご不明な場合も、委託事務局にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

委託事務局（学会支援機構 会員管理担当）

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4F

TEL:03-5981-6011

FAX：03-5981-6012

Eメール：sslaw@asas-mail.jp

※オンライン登録が難しい場合には、ハガキ（恐れ入りますが各自でご準備ください）に、氏名・所属・1日目の出欠・2日目の出欠・1日目の昼食の可否を記入し、5月17日（水）必着で学会事務局に郵送してください。

【送付先】 〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 27-1

東北大学大学院法学研究科 嵩さやか研究室気付

日本社会保障法学会事務局

＜重要＞ 第 78 回大会の報告レジュメ・資料及び報告音声のダウンロードについて

(1) 報告レジュメ・資料のダウンロードについて

第 78 回大会の報告レジュメ・資料は、学会ホームページ上での配布となります(4月20日ごろを予定)。学会ホームページ右バナー「各種資料ダウンロード」をクリックし、「各種資料のダウンロード」>「第 78 回大会」欄にある「シンポジウム資料」に、下記の ID、パスワードを入力し、ファイルを開いてください。

ID・パスワード：会報 web 版には記載しません

なお、5月20日ごろに、大会当日の各シンポジウムで使用する最終版の報告レジュメ・資料を掲載する予定です。報告レジュメ・資料をダウンロード・印刷する際にはご注意ください。

*会報 web 版には ID・パスワードは記載しません。情報管理の観点から、本部事務局・委託事務局ではパスワードの問い合わせにはお答えできません。

*大会終了から1か月を経過した時点で、レジュメは削除します。会員への個別のレジュメ送付、送信依頼には対応しませんのでご了承ください。

(2) 報告音声のダウンロードについて

個別報告についてのみ、報告音声を、学会終了後に学会ホームページ上に掲載いたします。上記レジュメと同様、学会ホームページ右バナー「各種資料ダウンロード」をクリックし、「各種資料のダウンロード」>「第 78 回大会」欄にある「個別報告音声」に、上記レジュメと同じ ID、パスワードを入力し、ファイルを開いてください。

*大会終了から1か月を経過した時点で、個別報告音声は削除します。会員への個別の音声送付、送信依頼には対応しませんのでご了承ください。